

教育のための マニフェスト

第5回 全国大会 アバノ・テルメ、2010年5月16日

スローフードにおける教育は

- 喜びであり、心地良く感じ軽やかに時を過ごす楽しい共生の場である
- ゆっくりとした時間の価値、ちょうど良いリズム、他者のリズムへの配慮を教える
- 行動しながら学ぶこと、なぜなら直接的な体験は糧となり、習得を助けるからである
- 文化、知識、能力、ものの見方の多様性を評価する
- 必要な物事を見極め、各人の関心と意欲を駆り立てる
- 複数の学科や異分野間の協力を斡旋しながら、多元的にテーマに向き合う
- 理解して自分のものにし、的確なビジョンを練るための時間をとる
- 対話や自由な表現、協力、互いに耳を傾け受け入れる助長をしながら、参加を奨励する
- 認知的、体験的、情緒的そして感情的な次元を取り込むひとつの奥深い行程である
- 背景にある記憶や知恵、地域文化を評価しながら身につける
- コミュニティという観念を強化しながら、地域ネットワークの編成を助ける
- 自己について、担うべき役割、なすべき行動についての自覚を高める
- 探究心を刺激し、洞察力と批判力を鍛える
- 思想、新しくより責任感のある行動を起こしながら、変化を促進する

この文書はクリスティーナ・ベルタッツォーニの監修と、以下からの協力により起草されました：
アンジェラ・ベルリンゴ、ジャダ・ボッラ、ヴァレリア・コメッティ、アンナリーザ・ドノーリオ、ステファニア・ドゥランテ、キアラ・フォルナ
ーリ、ダヴィデ・ギラルディ、シモーナ・ルパリアス、マリアジュリア・マリアーニ、ミシェル・メスマイン、シモーネ・サッカルディ、カルメン・ウ
オラス



Slow Food® Italia